



学校だより

井波っ子

令和7年11月25日

南砺市立井波小学校

11月号 第372号

井波小学校 HP アドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

題字 5年 松川 優翔さん

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)



みんなで共育 井波っ子

教頭 越村 晃吉

10月に入り、井波地域でも多くの熊の目撃があり、10月29日には全校引き渡しを行いました。今年度初めての引き渡し下校でしたが、tetoru配信後、保護者の皆様からの留め置き等の素早い連絡もあり、1・2年生の引き渡し、3~6年生の引き渡しとスムーズに行うことができました。急な熊対応による連絡にも関わらず、登下校時にもすぐにご対応もしていただきました。また、子供が安全に登下校できるようにと熊に関する情報を一早く教えてくださった見守り隊や保護者の皆様のおかげもあり、井波っ子は、安心・安全に学校生活が送れるように支えてくださっていることを日々実感しています。

さて、学校は子供たちにとって教科等の学び場であるとともに、社会性を育む大切な学び場と考えます。未来を担う井波っ子の健やかな成長を支えるためには、学校と家庭、そして地域が一体となった「共育（きょういく）」の視点が大切だと考えます。上記の登下校の対応一つにおいても、保護者や地域との連携が欠かせません。

この井波地域の様々な伝統文化や人材等があるすばらしい環境の中で、本校の子供たちが様々な学びができるのは、学校運営にとってかけがえのない財産です。

2学期に入ってから、地域との連携の取組では、2年生の図書館見学、3年生のスーパーマーケット「アスモ」の見学、4年生の環境問題に取り組んでいる井波地域の団体の取組からの学び、6年生のよいとこ井波の見学等、子供たちが教室の中だけでは得られない実際の生活の中での知識や、地域の方々の熱い思いに触れることで、深い学びを得ていました。

引き続き、井波っ子の笑顔があふれる学校を共につくっていけるよう、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



12月・1月の主な予定

12月

- 1日 (月) 集団登校
- 1日 (月) ~3日 (水) 全学年5限終了後下校
- 4日 (木) 校外児童会 5限後集団下校
- 5日 (金) 学校保健委員会
- 18日 (木) ・ 19日 (金) アルミ缶回収
- 19日 (金) 保護者個別懇談会 (井波地区)
- 22日 (月) 保護者個別懇談会
(山野・南山見・高瀬地区)
- 23日 (火) 2学期終業式 給食終了
- 24日 (水) 冬季休業開始



1月

- 8日 (木) 3学期始業式 校内書き初め大会
給食開始 給食後下校
 - 9日 (金) ・ 13日 (火) 全学年5限終了後下校
 - 22日 (木) スキー教室 (4・6年)
 - 24日 (土) 合唱部はばたきコンサート
 - 30日 (金) スキー教室 (3・5年)
- * 卒業証書授与式は令和8年3月17日 (火) です

父母と教師の会

ベルマーク回収 Box 設置について

「よいとこ井波」と「アスモ」に父母と教師の会のベルマーク回収Boxを設置していただきました。

「よいとこ井波」は、入り口を入ってすぐ左手に、「アスモ」は、袋詰めの場所に置いてあります。

みなさまのご協力をお願いいたします。



よいとこ井波



アスモ

『特別活動の研究を進めてきて』

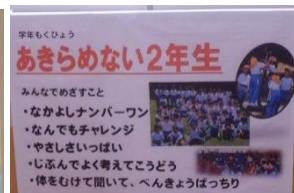
研究主任 林 優衣

井波小学校では今年度から2年間、研究推進校の指定を受け、「特別活動」をテーマに研究を進めています。特別活動とは、子供たちが集団の一員として、自ら考え、話し合い、よりよい生活や人間関係をつくっていく学習です。

学級会では、日々の生活や学年目標の振り返りを基に、「もっと〇〇できるようになりたい」といった思いを出し合い、話し合う議題も自分たちで決めていきます。話合いでは、自分の考えを伝えるだけではなく、友達の意見を聞き、折り合いを付けながら合意形成していくことを大切にしています。

はじめは、教師も子供たちもなかなか学級会を進めることができませんでしたが、回数を積み重ねるごとに学級会の方法を理解し、みんなで話し合って解決していくよさを感じてきています。

各学級や学年での取組の一部を紹介します。



各学級には「議題ポスト」を設置。
いつでも議題が入れられます。

学年の先生と子供たちとみんなで話し合って学年目標を決めました。学年目標を掲げるだけではなく、振り返りを学期に何度も行い、その結果から、自分たちの課題を見付けて話し合っています。



黒板には意見を短冊に書いていきます。色で意見を分けたり、論点を整理するために動かしたりします。

低学年でも子供たちが司会や書記を担当し、教師がサポートしながら進めています。

高学年では、ほとんど子供たちだけで話し合いを進めることができます。

元気いっぱい井波っ子

特別支援学級「できることをふやそう」

特別支援学級主任 曲師 ひとみ

10月30日に校外学習で、自分で切符を買って城端線に乗り、お昼ご飯を自分で注文してお店で食べる体験をしました。

子供たちに行き先と内容を伝えると、昨年の学習を思い出し、切符の買い方、買い物の仕方、安全な行動、持ち物等を学習する必要があることを確認しました。これらを順に学習する中で、公共の場所でのマナーについても考える時間をとり、周りの人のことを考えた行動を具体的な言葉や行動で確かめました。

一人一人が「静かにする」「勝手な行動をしない」などの目当てをもって出かけました。

「切符が買えた」「電車に乗って楽しかった」「お金を払ってうどんを買えた」「みんなでブランコに乗って楽しかった」など『できた』をたくさん感じる体験となりました。



<切符を購入>

1年 算数科「たしざん、ひきざん」

1年学年主任 高田 公美

算数科で「繰り上がり」「繰り下がり」の学習に取り組んでいます。この学習では、単なる計算の正しさだけでなく、「どうしてそうなるのか」「どんな方法で考えたのか」を言葉で説明する力も大切にしています。

友達と考え方を比べたり、ブロックや図を使って友達に説明したりする中で、自分の考えを整理し、表現する力を少しづつ身に付けてほしいと考えています。



<友達と自分の考えを説明し合う様子>